広島県教育委員会 NEWS RELEASE
広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現

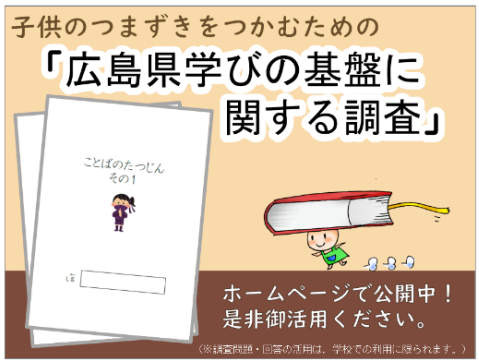
報道提供資料
令和４年10月20日
課　名　義務教育指導課
主任指導主事　長尾　佳和
内　線　4974
直通電話 082－513－4974

すべての児童の「できた」「分かった」につなげる「広島県学びの基盤に関する調査」について

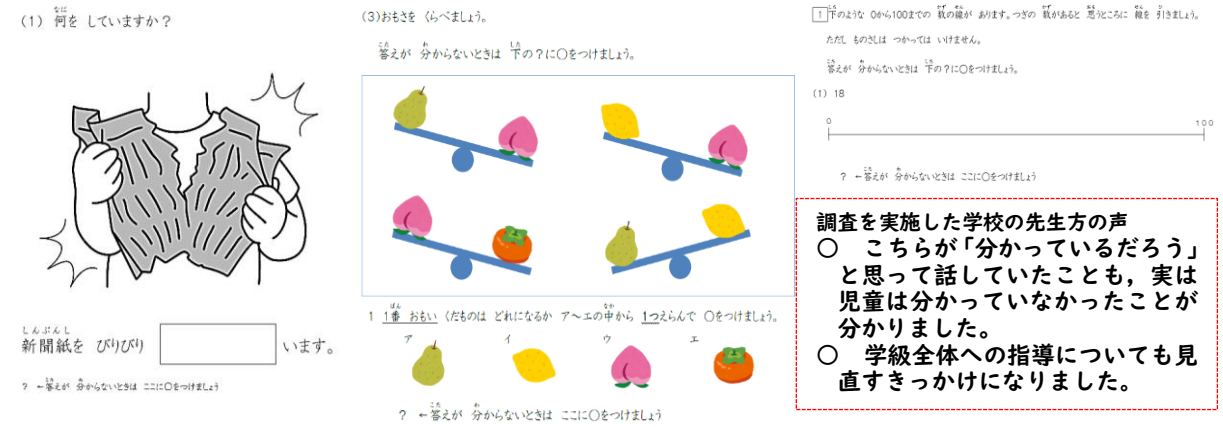
広島県教育委員会では，小学校低学年段階からの児童の学習のつまずきへの支援を目的とする「広島県学びの基盤に関する調査」を開発しました。
この度，県内の全ての公立小学校等で活用できるよう，問題や解答をはじめとした関係資料を広島県教育委員会ホームページに公開しました。是非，御活用ください。

○　広島県学びの基盤に関する調査とは…

小学校低学年段階における学習のつまずきの要因等を把握するため，慶應義塾大学の今井むつみ教授をはじめとした，有識者の方々の御指導のもと開発した広島県独自の調査です。
小学校第２学年の児童を対象に作成していますが，他の学年の児童に対しても実施可能です。教科学力の基盤となる「言葉，語彙」「数，形，量」「思考力，推論力」等，今までの一般の学力調査で見取りにくかった児童のつまずきを把握できます。



問題の例



調査を実施した学校の先生方の声
○　こちらが「分かっているだろう」と思って話していたことも，実は児童は分かっていなかったことが分かりました。
○　学級全体への指導についても見直すきっかけになりました。

○　学習につまずきのある児童への支援に向けて

調査をもとに，児童のつまずきを把握，要因分析することで，児童の実態に応じた個別の支援を行うことができます。県教育委員会のホームページでは，調査の結果から予想される児童の学習のつまずきと，考えられる支援の手立て例を「参考資料」として示しています。広島県内の学校の，すべての児童が「できた」「分かった」という達成感を感じられるよう，県内で広く活用するよう取り組んでいくこととしております。